
しっぽのある鉄塔

キップル

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

しっぽのある鉄塔

【Nコード】

N4332I

【作者名】

キップル

【あらすじ】

しっぽのある鉄塔のいた

陽炎虫が舞っていた夏の、おはなし

ひどく目立たない黄色のレンガ道を行くと
夏休みの少し手前に古い送電鉄塔が見える
陽炎虫が大発生した年の真夏のある日
一人の男の子がその鉄塔の下で感電死した
鉄塔からぶら下がっている電線に触れたんだ
鉄塔は人間が大好きで電線のしっぽを振ってしまっ
会社の人に来て電線を切断しようとしたけれど
近づくともギョランギランしっぽを振るので
とっても危なくて無理な話だったよ
それどころか鉄塔がだんだん帯電してきたのさ
夜になると月もないのにぬもーつと光って
魔法のようにきれいだという噂が広まり
毎晩何百人もの人が集まるようになった
今度は酔っぱらいが感電して死んだんだ
半径50メートルが立ち入り禁止になり
送電がストップされることになった
取り壊して別の安全な鉄塔を作るんだって
送電鉄塔はだんだん光を弱めていった
見物しにくる人も少なくなっていた
会社の人は毎日帯電容量をはかりに来た
そのたびに鉄塔はしっぽを振ったけれど
それも日に日に弱々しくなっていた
台風が近づいていたある日とうとう
会社の人がいっぱい鉄塔の下にやってきた
ちょうど夏休みの最後の日だったな
電線を切断する準備がはじまると
そのとき少しだけきゅるむと

しっぽが揺れたんだけどそれは
たぶん風のせい

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4332i/>

しっぽのある鉄塔

2010年10月15日23時16分発行